

WIN PARTNERS  
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

# PARTNERS Report

ウイン・パートナーズ 株式会社

第9期第2四半期 株主通信 Vol.13

2021年4月1日～2021年9月30日



症例数の回復で収益は改善。  
IT技術を活用した物流改革にも  
取り組んでいます。

代表取締役社長 秋沢英海

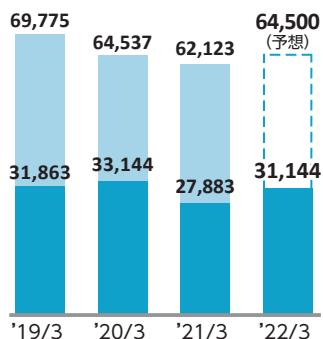
## 連結財務ハイライト

■ … 第2四半期(累計) ■ … 通期

### 売上高

(単位：百万円)

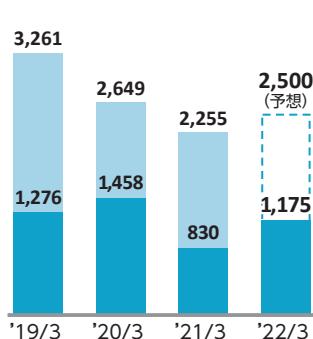
**31,144**百万円 (前年同期比+11.7%)



### 営業利益

(単位：百万円)

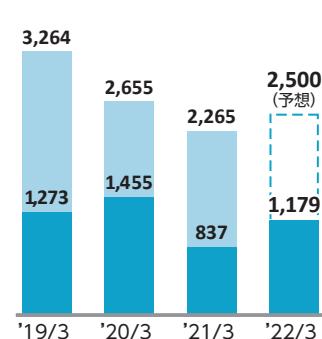
**1,175**百万円 (前年同期比+41.5%)



### 経常利益

(単位：百万円)

**1,179**百万円 (前年同期比+40.8%)



## Q-1 当上期の経営成績と通期見通しについてご解説ください。

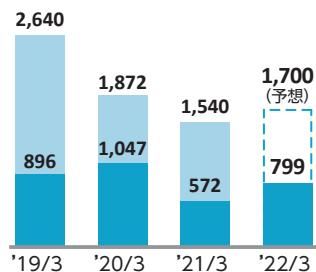
医療業界は引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）による影響を受けていますが、通常医療の提供体制は徐々に正常に戻りつつあります。当社グループでも、顧客病院での症例数の回復に伴って収益は改善し、当上期の売上高は前年同期比11.7%増、営業利益は同41.5%増と、増収増益に転じました。ただ、今回の増収増益は、前年同期の症例数が極端に少なかったことの影響による部分も大きく、決して手放しで喜ぶべき状況ではないと捉えています。

通期業績につきましても、期初の予想を据え置き増収増益となる見通しです。事業環境が急速に改善することは期待しにくい状況ですが、上期に引き続いて仕入れ交渉の強化や営業力強化などに取り組むことで、収益を確保していく考えです。新規顧客の開拓や、市場が拡大している心臓律動管理関連（CRS）の拡大などにも取り組みます。CRSでは、ペースメーカー等に関する専門的な情報を提供できる「CDR」という認定の取得に力を入れており、3月末の91人から増やす計画です。

### 親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)

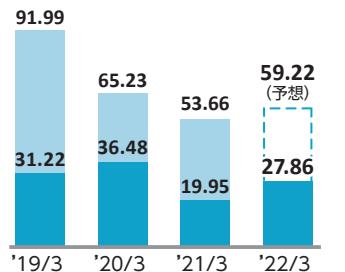
**799**百万円 (前年同期比+39.6%)



### 1株当たり当期純利益

(単位：円)

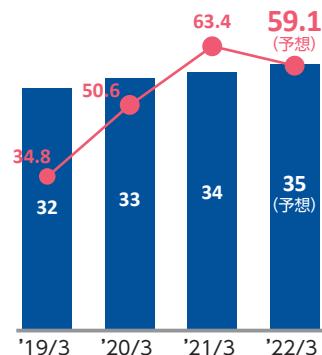
**27.86**円 (前年同期比+39.6%)



### 1株当たり配当金

■ 普通配当 (円)

● 配当性向 (%)



## Q-2 物流の効率化に向けた取り組みについてご紹介ください。

当社グループは国内に24の拠点を展開し、87社の医療機器メーカーから製品を仕入れ、465の医療機関に販売しています。ただ販売するだけではなく、種類・数量ともに膨大な製品それぞれについて各医療機関での在庫状況を把握し、必要に応じて補充する必要があります。これまでは多くの作業を人手に頼ってきましたが、IT技術などを駆使してこれを大幅に効率化・正確化することを目指して、物流改革に取り組んでいます。

その目玉となるのが東京・大田区に建設中の新拠点「WIN Heart Gate」です。2022年秋をめどに

延床面積約3,000㎡の建物が完成、2023年秋ごろの稼働開始を目指しています。「RFID」\*などを活用した最新鋭の物流販売管理システムを導入し、当社グループが首都圏で展開する9つの営業所・出張所をカバーする予定です。周辺に多くの医療機器メーカーの物流拠点が集積している地の利も生かし、物流の大幅な効率化を期待しています。

RFIDの活用に関しては、厚生労働省の研究事業の一環として3月中旬から、病院における実証試験をサポートさせていただいています。従来のバーコードとは違って、医療機器に貼付したICタグの情



◀ 新物流拠点「WIN Heart Gate」完成イメージ

報を離れた場所でも読み取れるなどの利点があるのですが、実際に運用してみると、医療機器特有のノウハウが必要なことがわかってきました。この研究と並行して、当社グループ内でも独自の検証を重ねており、「WIN Heart Gate」には、これらで培ったノウハウを余すところなく投入したいと考えています。

※RFID…無線通信を用いてICタグを取り付けた商品等を管理するシステム



### Q-3 今後の市場の見通しと成長戦略についてお聞かせください。

新型コロナの動向については細心の注意を払っておりますが、先々を予測することは極めて難しい状況です。身体的負担が少ない「低侵襲医療」に注力することや、安全・的確に医療機器を供給する医療現場支援、市場調査に基づく「集患提案」など、「顧客とともに成長する」という当社グループが目指す基本的戦略に変更はありません。

ウィズコロナ/アフターコロナに向けて我々は今、営業担当者を中心とする人材の採用や教育、先ほどご紹介した物流改革など、将来に向けた事業基盤の拡充に力を入れています。同時に、5年後10年後の医療を見据えた研究・調査にも取り組んでおり、例えば、各診療科の将来像や、顧客病院へのサポートのあり方、遺伝子治療や医療ロボットなどへの対

応などについて様々な角度から検討しています。

またDXへの対応にも取り組んでおり、2020年4月に新設した「ITインフラ部」が主体となって、グループウェアの全面リニューアルなどITの活用に

よる業務効率化を推進しています。M&Aにも積極的に取り組みたいという姿勢に変わりはありませんが、幅広く情報を収集しながら、焦らずに慎重に動き出したいと考えています。

## Q-4 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当期末の配当金につきましては当初の計画通り、前期比1円増配の1株当たり35円とさせていただく見通しです。



新型コロナによる影響はやや落ち着いてきたとはいえ、今後も予断を許さない状況が続く見通しです。厳しい環境下ですが、社員全員が懸命に努力してくれているおかげで、当社グループは安定した経営成績を残すことができています。顧客と対面することが難しい状況でも、納品時など数少ないチャンスを活用して次の仕事につなげるなど、ひた向きに営業活動をしております。こうした社員たちをはじめ、多くのステークホルダーの皆様によって当社グループは支えられていることを忘れることなく、今後も企業価値の持続的な向上に努めてまいります。

株主の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 連結貸借対照表(要旨)

	前期末 2021年3月31日	当第2四半期末 2021年9月30日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>35,994</b>	<b>34,010</b>
現金及び預金	17,122	16,818
受取手形及び売掛金	15,966	14,203
商品	2,334	2,293
その他	570	694
<b>固定資産</b>	<b>4,193</b>	<b>4,254</b>
有形固定資産	3,181	3,206
無形固定資産	128	185
投資その他の資産	882	862
<b>資産合計</b>	<b>40,187</b>	<b>38,264</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>17,960</b>	<b>16,159</b>
支払手形及び買掛金	16,756	15,109
その他	1,204	1,050
<b>固定負債</b>	<b>1,088</b>	<b>1,133</b>
<b>負債合計</b>	<b>19,049</b>	<b>17,293</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>21,116</b>	<b>20,940</b>
資本金	550	550
資本剰余金	2,272	2,272
利益剰余金	18,832	18,656
自己株式	△538	△538
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>21</b>	<b>31</b>
<b>純資産合計</b>	<b>21,138</b>	<b>20,971</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>40,187</b>	<b>38,264</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	前第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第2四半期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>508</b>	<b>828</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△1,193</b>	<b>△156</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△947</b>	<b>△976</b>
<b>現金及び 現金同等物の期首残高</b>	<b>12,495</b>	<b>12,122</b>
<b>現金及び現金同等物の 四半期末残高</b>	<b>10,862</b>	<b>11,818</b>

### 総資産／純資産／自己資本比率



### Point

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が1,179百万円、売上債権の減少が1,763百万円あった一方、仕入債務の減少が1,646百万円、法人税等の支払が275百万円あったこと等により828百万円の収入となりました。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が107百万円あったこと等により156百万円の支出となりました。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

前期の配当金の支払が976百万円あったことにより976百万円の支出となりました。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

	前第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第2四半期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
売上高	27,883	31,144
売上原価	24,438	27,251
売上総利益	3,444	3,892
販売費及び一般管理費	2,613	2,716
営業利益	830	1,175
営業外損益	6	3
経常利益	837	1,179
特別損益	—	0
税金等調整前四半期純利益	837	1,179
法人税等	264	379
四半期純利益	572	799
親会社株主に帰属する 四半期純利益	572	799

連結包括利益計算書  
(要旨)

(単位: 百万円)

	前第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日	当第2四半期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
四半期純利益	572	799
その他の包括利益	20	9
四半期包括利益	593	809

## Point

主力の虚血性心疾患関連、心臓律動管理関連、心臓血管外科関連の販売数量がいずれも伸長したこと等により、増収増益となりました。

## 主要分類別売上概況

## ● 虚血性心疾患関連 (PCI)

顧客の課題解決に向けた付加価値の高い提案を行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。その結果、主力商品であるPTCAバルーンカテーテルや薬剤溶出型ステント(DES)、血管内超音波(IVUS)診断カテーテルの販売数量が伸長したこと等により、虚血性心疾患関連の売上高は8,233百万円となりました。

前年同期比 **+9.6%**



取扱製品例：  
薬剤溶出型ステント  
(DES)

## ● 心臓律動管理関連 (CRS)

既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に注力するため、人員の増強を図り営業活動を強化しました。その結果、不整脈の治療で使用するEPアブレーション関連商品やペースメーカの販売数量が伸長したこと等により、心臓律動管理関連の売上高は8,334百万円となりました。

前年同期比 **+6.4%**



取扱製品例：  
ペースメーカ

9.1%

医療機器関連

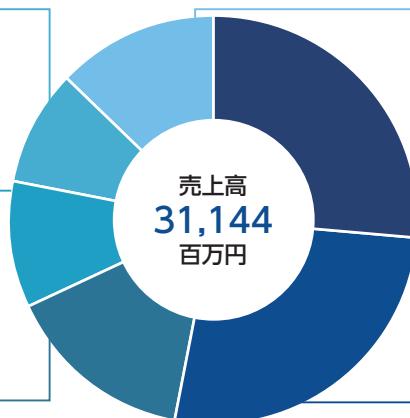
10.2%

末梢血管疾患関連 (PPI)  
及び脳外科関連

14.9%

心臓血管外科関連 (CVS)

分類別売上高構成比

売上高  
31,144  
百万円

12.6%

その他

26.4%

虚血性心疾患関連 (PCI)

26.8%

心臓律動管理関連 (CRS)

### ● 心臓血管外科関連 (CVS)

経カテーテルの大動脈弁留置術 (TAVI) やステントグラフト関連商品の販売数量が伸長したこと等により、心臓血管外科関連の売上高は4,639百万円となりました。



取扱製品例：  
TAVI用生体弁

前年同期比 **+15.1%**

### ● 医療機器関連

医療施設の新築・増改築及び医療機器の更新情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行った他、新型コロナウイルス感染症対策関連機器の販売等により、医療機器関連の売上高は2,836百万円となりました。



取扱製品例：  
移动式X線撮影装置

前年同期比 **+43.0%**

### ● 末梢血管疾患関連 (PPI) 及び脳外科関連

経皮的シャント拡張術で使用されるPTAバルーンカテーテルや脳外科関連商品の販売数量が伸長したこと等により、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は3,164百万円となりました。



取扱製品例：  
PTA/バルーンカテーテル

前年同期比 **+9.2%**

### ● その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図りました。この結果、消化器関連や糖尿病関連の販売数量が伸長したこと等により、その他の売上高は3,935百万円となりました。



取扱製品例：  
インスリンポンプ

前年同期比 **+8.6%**

## 特集 女性活躍推進サポートチーム「KIRARIS」が発足

現在世界では、地域、社会、企業など様々な単位で国籍、人種、性別といった障壁を取り除き、多様な価値観を受け入れようとの動きが大きくなっています。日本でも先ごろ改定されたコーポレートガバナンス・コードにおいて企業の中核人材における多様性の確保が掲げられ、上場企業はそれに向けた人材育成方針、社内環境整備方針とその実施状況を開示するよう求められています。また、出生率低下による少子高齢化の進行がとりわけ速い日本においては、女性が一層活躍していくことは企業のみならず日本経済全体の持続的な成長に欠かせません。

しかしこれは単に女性社員や女性管理職の数を増やせばよいという問題ではありません。妊娠・出産といった女性特有のライフイベントからスムーズに復帰するための支援、女性に偏りがちな育児と仕事の両立ができる環境、必要な知識・スキルを獲得できる教育制度、そして機会を均等に与えられる組織などを十分に整えることが重要です。

そこで当社では今回、女性活躍推進に向けて女性社員を構成員とするサポートチーム「KIRARIS」を発足させました。KIRARISは「輝き」を表すKIRARIと「上昇」を意味するRISEを組み合わせた造語です。「ライフイベント発生時の退職防止」、「仕事と家庭を両立できる環境の整備」、「女性活躍の推進」を段階的に実現するべく、相談窓口の設置や社内研修の実施などを経営層に提案・提言し、女性活躍実現に向けてのサポートを行っていきます。ウイン・グループの活力ある組織作りと持続的な成長のためにKIRARISの活躍にご期待ください。



### ● KIRARISメンバーの声

#### 篠原さおり

ウイン・パートナーズ 総務部長代理

当社では優秀な女性営業が多くおり、日々医療現場を支援しています。KIRARIS発足に伴い実施した、女性営業向けの研修では、新人から役職者まで様々な立場での意見交換を通し、私たちの考えの根底は「顧客ファースト」であることを再認識いたしました。

当社グループの更なる成長には、女性社員の活躍を後押しできる環境の整備が必須です。社員の状況や想いを正しく理解し、1歩ずつ施策に取り組んでまいります。

## 会社概要

(2021年9月30日現在)

社名	ウイン・パートナーズ株式会社
英文社名	WIN-Partners Co., Ltd.
事業内容	医療機器販売等（連結ベース）
本店所在地	東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン21階
グループ会社	株式会社ウイン・インターナショナル テスコ株式会社 株式会社エムシーアイ
設立年月日	2013年4月1日
資本金	5億5千万円
従業員数	551名（連結）

## 役員

(2021年9月30日現在)

代表取締役社長	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	秋田 裕二
取締役	松本 啓二
社外取締役	間島 進吾
社外取締役	井出 健治郎
取締役	中田 陽一*
社外取締役	神田 安積*
社外取締役	菊地 康夫*

(注) ※は、監査等委員

## 株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	100,000,000 株
発行済株式の総数	30,503,310 株
株主数	7,502 名

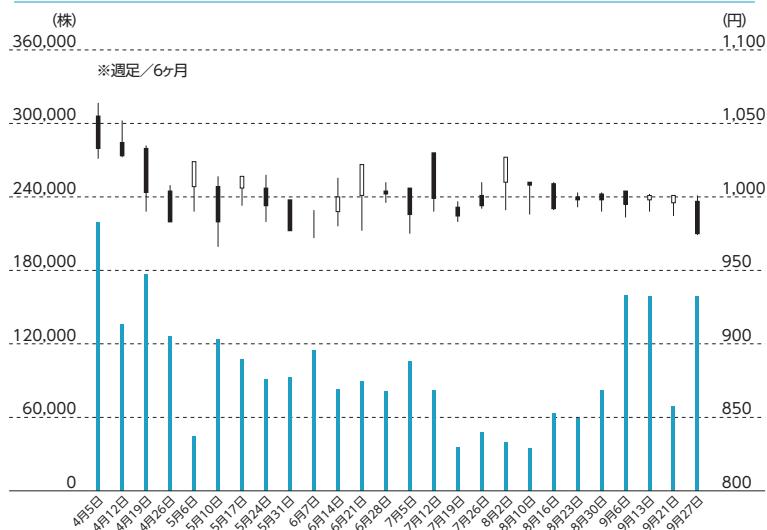
## 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社オフィスA	5,500,000	19.16
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,941,584	6.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,912,800	6.66
株式会社キエマ企画	1,891,000	6.59
秋田裕二	1,714,690	5.97

(注) 持株比率は自己株式1,795,073株を控除して計算しております。

## 株価及び出来高の推移

(期間：2021年4月～9月)



## IRカレンダー



## 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月	連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	期末配当金 3月31日		
公告方法	電子公告 <a href="http://www.win-partners.co.jp/koukoku/">http://www.win-partners.co.jp/koukoku/</a> やむを得ない事由により電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。		

※ 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

WIN PARTNERS

ウイン・パートナーズ 株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン21階  
TEL: 03-3548-0790

[www.win-partners.co.jp](http://www.win-partners.co.jp)



WINはQOL推進企業です